

# 自校の調査結果をチェックしましょう！

今回の結果からみられる自校の課題を取り上げ、「3つの見届ける」を徹底しましょう。

《自校の課題として取り上げたい問題》

平均正答率	県 ( ) %	自校 ( ) %
-------	---------	----------

★課題となっていることの要因や背景

1 児童生徒の実態から

2 教師の指導から

☆指導上の改善点（見届けの徹底を図るための場や方途）

算数・数学の授業では、

## 【平成 28 年度 全国学力・学習状況調査の設問と同一、類似問題の正答率】（算数・数学）

問題番号	平成 28 年度 岐阜県における児童生徒の学習状況調査		平成 28 年度 全国学力・学習状況調査					
	出題のねらい・意図	自校	県	問題番号	自校	県	全国	
小 4	2(3)	(小数) - (小数) の計算をすることができる。類似	%	79.3%	A 2	%	80.7%	77.1%
小 5	1(1)	(小数) + (小数) の計算をすることができる。類似	%	78.5%	(2)	%	80.7%	77.1%
小 4	1(1)	数の大小が分かる。類似	%	53.3%	A 3(2)	%	71.4%	74.1%
	9	2つの表から、読み取ることができることと、読み取ることができないことを、見つけることができる。類似	%	73.0%	B 4(2)	%	71.2%	70.7%
小 5	3	小数の計算における乗数と積の大きさ、除数と商の大きさの関係について理解している。類似	%	41.2%	A 1(1)	%	65.2%	64.8%
	4(2)	1 m <sup>2</sup> あたりの人数の求め方を理解している。類似	%	49.3%	A 4	%	68.4%	72.0%
	6	もとにする量と比べる量の関係を理解している。類似	%	44.5%	A 9(2)	%	49.0%	50.9%
中 2	2(1)	数量の関係を文字式に表すことができる。同一	%	28.4%	A 2(1)	%	30.6%	32.2%
	2(4)	一次方程式の解の意味を理解している。類似	%	45.3%	A 3(2)	%	47.3%	47.2%
	8(3)	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を説明することができる。類似	%	29.5%	B 3(3)	%	30.5%	30.3%

# 平成 28 年度 岐阜県における児童生徒の学習状況調査 《算数・数学》

## 概要

### 小学校第 4 学年

県平均正答率 62.9%  
 A 問題 69.0%  
 B 問題 49.6%  
 自校平均正答率 [ ] %  
 A 問題 [ ] %  
 B 問題 [ ] %

### 小学校第 5 学年

県平均正答率 59.8%  
 A 問題 69.3%  
 B 問題 48.4%  
 自校平均正答率 [ ] %  
 A 問題 [ ] %  
 B 問題 [ ] %

### 中学校第 2 学年

県平均正答率 56.4%  
 A 問題 59.7%  
 B 問題 50.4%  
 自校平均正答率 [ ] %  
 A 問題 [ ] %  
 B 問題 [ ] %

## こんな成果が見られました

### <小学校>

◆示された事柄について、二つの表を基に読み取ることができない事柄を特定する指導の成果が表れています。

■この指導が掲載されている資料

○平成 28 年度 全国学力・学習状況調査指導改善資料 第 1 弾「子どもの目線に立つ 2016」

■平成 28 年度県学習状況調査結果から

小学校 4 年 9

表 1 「各学級の、曜日ごとに借りた本の数(さつ)」

	月	火	水	木	金	合計
4 年 1 組	23	32	21	12	18	106
4 年 2 組	18	35	15	10	20	98

表 2 「各学級の、借りた本の種類ごとの数(さつ)」

	物語	科学	伝記	その他	合計
4 年 1 組	48	21	17	20	106
4 年 2 組	43	18	9	28	98

下のア～エについて、表 1、表 2 だけでは分からないものを 1 つ選び、その記号を書きましょう。  
 ア どちらの学級も火曜日に借りた本の数がいちばん多いですね。  
 イ 4 年 1 組の借りた本の数は、合計 106 さつです。4 年 2 組より、多いですね。  
 ウ 木曜日は「伝記」を借りた本の数が少ないですね。  
 エ どちらの学級も、この一週間は「物語」を借りた本の数が、一番多いですね。  
 正答率 73.0%

■過去の同一・類似問題 ( ) 内：国平均正答率

平成 28 年度国調査 B 問題

4(2) 下の 1 から 4 までの — 部のことについて、表 1、表 2 だけでは分からないものを 1 つ選んで、その番号を書きましょう。  
 正答率 71.2% (70.7%)

### <中学校>

◆与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理する指導の成果が表れています。

■この指導が掲載されている資料

○平成 28 年度 全国学力・学習状況調査指導改善資料 第 2 弾「子どもの目線に立つ 2016」

■平成 28 年度県学習状況調査結果から

8(1)

	A プラン	B プラン
毎月支払う基本料金	3400 円	4500 円
1 分間あたりの通話料金	40 円	32 円

$$1 \text{ か月の支払料金} = (\text{毎月支払う基本料金}) + (\text{1 分間あたりの通話料金}) \times (\text{通話時間})$$

A プランを契約して通話時間が 20 分間であるときの 1 か月の支払料金を求めなさい。  
 正答率 70.8%

■過去の同一・類似問題 ( ) 内：国平均正答率

平成 28 年度国調査 B 問題

	A プラン	B プラン
車両価格	280 万円	180 万円
1 年間あたりの充電代・ガソリン代	4 万円 (充電代)	16 万円 (ガソリン代)

$$(\text{総費用}) = (\text{車両価格}) + (\text{1 年間あたりの充電代・ガソリン代}) \times (\text{使用年数})$$

A 車を購入して 10 年間使用するときの総費用を求めなさい。  
 正答率 66.5% (67.4%)

※平成 27 年度県調査 8(1) (正答率 50.1%) と比較しても、改善傾向にあるととらえることができます。

## <学校質問紙> 既習内容を想起させるなど、既習の知識・技能と関連付けた指導が定着しています。

<小学校> 「十分に行った」「どちらかといえば行った」を合わせると 99.7% が実施しています！

<中学校> 「十分に行った」「どちらかといえば行った」を合わせると 99.4% が実施しています！



# 算数・数学 調査結果と指導の改善

## 基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付ける指導を継続していますか。

### 調査結果 設問及び平均正答率

- ◆小学校第4学年
  - ①(1) 数の大小が分かる。 県 53.3% 自校      %
  - (2) 小数の仕組みが分かる。 県 51.1% 自校      %
- ◆小学校第5学年
  - ② (小数) ÷ (小数) で、被除数、除数、商及び余りの関係を理解している。 県 79.1% 自校      %
- ◆中学校第2学年
  - ①(5) 単項式の乗除が混じった式の計算をすることができる。 県 45.6% 自校      %

### 指導改善のポイント①

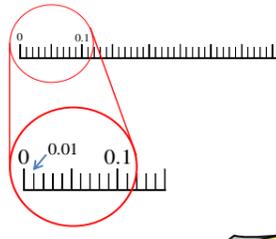
教科書等を使って、身に付けさせたい基礎的・基本的な知識・技能を明確にしましょう。

基礎・基本

【小学校】 身に付けさせたい知識・技能を明確にして、繰り返し取り組める活動を位置付けましょう。

【実践例】 4年生「小数（小数と整数のしくみ）」

- ・本時身に付けさせたい基礎的・基本的な知識・技能は、小数を相対的な大きさの見方（単位のいくつ分）でとらえ、どんな小数でも大きさ比べができるようになることです。
- ・小数を数直線上に位置付けたり、数の相対的な大きさの見方（単位のいくつ分か）でとらえたりして、数の仕組みを理解する活動を取り入れましょう。
- ・数直線では、1目盛りの大きさを変えて、数の仕組みと関連付けましょう。



整数の大きさ比べと同じように、小数も各位の数に着目すればよいことに気付けるようにするとともに、計算の仕方を考える学習でも、各位の数に着目することを活用できるようにしましょう。

【中学校】 教科書に示された学習活動の意図を踏まえ、計算の仕方考えさせた上で習熟を図りましょう。

【実践例】 2年生「式と計算（単項式を単項式でわる除法）」

- ・係数に分数を含んだ式でわる計算の場合、教科書では、「計算の仕方考えよう」と「計算しよう」とに学習活動を分けています。それぞれの意図に応じて、学習活動を工夫しましょう。

「計算の仕方考えよう」と示された計算

$$\frac{1}{2}a^2 \div \left(-\frac{2}{3}a\right) = \frac{a^2}{2} \div \left(-\frac{2a}{3}\right) = \frac{a^2}{2} \times \left(-\frac{3}{2a}\right)$$

「どのように考えて変形したのですか」と発問するなどして、計算の仕方を考えさせましょう。

「計算しよう」と示された計算

$$6a^2 \div \frac{2}{5}a \times b = 6a^2 \div \frac{2a}{5} \times b = 6a^2 \times \frac{5}{2a} \times b$$

「途中の式を書いてみましょう」と発問するなどして、計算の習熟を図りましょう。

単元末だけでなく、学期末や年度末においても、教科書の「練習」や「○章の問題」、巻末の「まとめの問題」等を繰り返し活用し、全ての生徒が知識・技能を身に付けているかを定期的に見届けましょう。

### 習熟問題① 過去問題に挑戦（当該学年までの学習内容を確実に定着して進級できるようにしましょう）

【小学校】 H27 国A①(3)計算の確かめ  
6.3+0.22 の答えを 6.52 と求めました。  
この答えが正しいかどうかを、次のように確かめます。  
下の㊦、㊧、㊨に入る数を書きましよう。

㊦ - ㊧ を計算して、㊨ になるかどうかを確かめます。

【小学校】

- H28 国A②(3) (整数)÷(小数) H27 国A②(2) (小数)−(小数)
- H27 国A①(3)・H27 県5年② 計算の確かめ
- H27 県4年①(2) 小数の仕組み

【中学校】

- H27 県①(5)・H26 県①(5) 単項式の乗除が混じった式の計算

※「国」は全国学力・学習状況調査、「県」は岐阜県における児童生徒の学習状況調査を表す。  
★小学校については、総合教育センターHP「基礎学力定着プロジェクト」(<http://www.gifu-net.ed.jp/ssd/sien/kiso/kisotop.html>)に掲載されている「学期末評価問題及び補充問題」や「これだけはどの子も！学ブリ」も活用しましょう。

## 学習内容を振り返ったり、学習したことを発展的に考えたりする指導を行っていますか。

### 調査結果 設問及び平均正答率

- ◆小学校第4学年
  - ⑩(3) 長方形の辺の長さを変えると面積も変わることを、示された数値をもとに説明することができる。 県 35.7% 自校      %
- ◆小学校第5学年
  - ⑨(1) 用いられている考えを別の場面に適用して、横の本数と長方形の面積を求め、その説明を言葉と式を用いて記述することができる。 県 43.7% 自校      %
- ◆中学校第2学年
  - ⑦(3) 付加された条件の下で、新たな事柄を見だし、説明することができる。 県 11.9% 自校      %

### 指導改善のポイント②

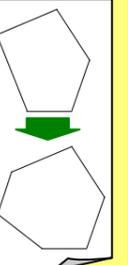
条件を変えて発展させたり、理由を考えたりする活動を位置付けましょう。

条件

【小学校】 問題を解決したら、その問題の一部分（数値や形等）を変えて、さらに考えを深めていく活動を位置付けましょう。

【実践例】 5年生「図形の角の大きさ（多角形の角）」

- ・五角形の5つの角の大きさの和は、三角形や四角形に分割すれば求められることを説明する活動を位置付けましょう。
- ・「他にどんな多角形の角の大きさの和を求めることができそうですか」と問いかけ、六角形や七角形でもできそうだという見通しをもてるようにするとともに、問題の一部を変えて考えようとする態度を価値付けましょう。
- ・その後、「角の大きさの増え方をみて、気付くことはありませんか。」と問いかけ、いくつかの場面をまとめることで、問題の一部を変えて考えることよさを実感できるようにしましょう。

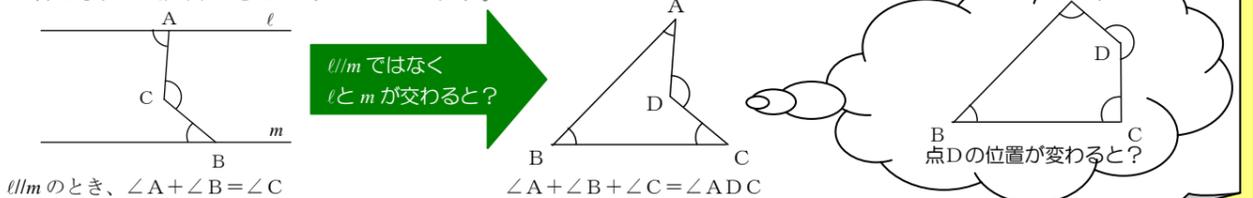


教科書には、数学的な考え方を育むために、学んだ考え方をさらに深める問題として、問題の一部分（数値や形等）を変えて考えを進めていく問題が位置付けています。

【中学校】 条件を変えた図をかき、仮定と結論を明確にして説明させましょう。

【実践例】 2年生「平行と合同（図形の性質と補助線）」

- ・教科書に示された図形の条件がどのように変わったのかを考えて学習活動に取り組むことで、生徒自身が条件を変えて説明できるようにしましょう。



3年生でも、教科書の「もっと数学」を活用し、「円周角の定理」「円に内接する四角形の性質」「接線と弦とがつくる角の性質」を関連付けて扱うことで、条件を変えて考える活動を位置付けることができます。

### 習熟問題② 過去問題に挑戦

【小学校】

- H28 国B① 面積調べ
- H27 県5年⑧ 多角形の角

【中学校】

- H27 県⑦(2)条件付加
- H26 国B④(2)条件付加

【中学校】 H27 県B⑦(2) (条件付加)

∠C=45° のとき、AE=DE以外にも新たにわかることがあります。それを、下のア～エまでの中から1つ選び、その符号を書きなさい。

- ア BA=BE
- イ BA=BD
- ウ AE=CE
- エ AE=CD

